

僕もは例の如くどがりたり如き口吻にて
いかりも味乗ふと一書をいさしおきたる
るれと行りしちのみにあつて君もは例の如く
様あり温情なりと察せしむるは慰問
に接し
のちある書に對しては君の遊みに存心
しある書に對しては君の同為用
情し又ある書に對しては君の同為用

多量とて讀むるは所望にて一
商人からとあたし値ありとて君に
士中より中しとては僕も其た面白
たよりそ持ちまふしか旧臘中は
九州中國の旅行も用ひたるもの
一紙を發ししとては後僕にて善出
しとては
一紙を發ししとては後僕にて善出

たけりしとては後僕にて善出
今一序を左の如く赴くことなるは
弟も同行とありしとては今日は同為用の

後海の支那を述べるは中野村
其の訪問もいけ其他一二の東字に
接しては

伊達後走の
二月廿七
智

二月廿七

